

令和5年1学期終業式 式辞

皆さん、おはようございます。校長の山本です。

さて、令和5年度も約3分の1が過ぎ、今日無事に1学期の終業式を迎えることとなりました。

この4月からの4カ月足らずに日々の中で、皆さんはどのような経験を重ねてきたでしょうか。

世の中で大切なものは、ほとんどが形のないもの。その代表的なものとして「時間」があります。皆さんは時間の大切さを認識していますか。

皆さんは、時間はだれにとっても不変であり、全ての人に等しく流れていると思っていませんか。別にアインシュタインの相対性理論を引き合いに出して難しい話をしようというのではありません。

今や原子の振動数をもって厳格に定められている1秒という時間は、物理学的には、高校生の皆さんと63歳の私にとっては全く同じ長さになります。

しかし、高校生の皆さんにとっての1日は、63歳の私の1日よりもはるかに重く、大切なものとなります。

今の皆さんは、人生の中でいろいろな面において、最も成長ができる期間となります。勉強に、運動に、そして人間関係においても最も伸びが期待できる黄金の日々となっています。

そして、その成長に必要なものは「努力」に他なりません。皆さんは今、人生の最高のゴールデンタイムにふさわしい努力を積み重ねていますか。

今、皆さんが積み重ねる小さな努力という頑張りとは、その後の何十年という人生における最大の武器として、皆さんの身を守ってくれます。63歳の私が行う努力とは、その値打ちが格段に違うのです。

今日から約1か月の夏休みに入ります。これだけのまとまった時間はとても貴重なものになります。皆さんにとって、人生におけるたった1度の高校1年生の、2年生の、3年生の夏休みが始まります。

この人生におけるとても大切な時間を有意義に使いましょう。なんでも結構です。あとから振り返ったときに自分の成長を実感できる、そんな充実した1か月になるように取り組んでください。

皆さんがこの夏を超えて、一回り大きく、たくましく成長した姿を見せてくれることを心から楽しみにしています。

それでは、良い夏休みを過ごしてください。